

2022年度卒業式校長挨拶（2023.3.18）

大講堂前の桜のつぼみもほころび始めました。この春の良き日に、2022年度武蔵高等学校卒業式を挙行了しましたところ、池田康夫学園長、落雅美同窓会会長、小林央保護者会会長並びに多くの親御さんのご出席をいただき、かくも盛大に開催できますことに御礼を申しあげるとともに、心から喜びたいと思います。

第97期の卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。この三年間は世界中がコロナに見舞われた歴史的な三年間でした。ちょうど3年前の3月2日。全国一斉休校宣言により、武蔵も第二次世界大戦以来、75年ぶりの休校を余儀なくされました。中学卒業式も行なわないまま、3か月後にクラスごとの旧クラスでの組会合、新クラスでの組会合から、皆さんの武蔵高校生活は始まりました。あれから3年。これは全国どこの高校生も同じですが、様々な制限の下で、皆さんの高校生活は進み、今日卒業の日を迎えました。

しかしながら、そうした中でも常に前を向きながら、できないことに不平不満を言うのではなく、どうしたら何ができるかという視点から、体育祭もそう、記念祭もそう、そして残念ながら実施できなかった強歩大会もそう、部活動もそう、前を向いて歩き続けてきた皆さんを私は誇りに思います。

そうした皆さんが、本日をもってこの武蔵を旅立っていくことに、さみしさを禁じ得ません。しかし、卒業を示すコメントと言う言葉は「新たな旅立ち」を意味します。この武蔵を旅立っていく皆さんに、万感の思いを込めて最後のお話をします。

それは武蔵で学んできた「自ら調べ自ら考える」「自調自考」の先は何なのか。その先をいく人になれということです。

武蔵の三理想のうち、「自調自考」、自ら調べ自ら考えるは、三理想の中でも基盤にある理念だと思います。皆さんも在学中、何か疑問に思ったことを先生に聞いても、「それは自分で考えろ」と何度も言われたのではないかと思います。

自ら調べ自ら考える。現代社会では実は難しいことです。自分で考えるより、みんなにあわせておいた方がよい。そもそも、これだけ様々な情報、ある意味で玉石混交、フェイクニュースが流通、拡散する中で、情報を取捨選択し、自分なりの判断軸をしっかりと持つということは、現代社会を生きていく上で強く求められますし、武蔵で得た「自調自考」の精神や財産はこれからは試されると思います。

しかし、「自調自考」で終わりなのか。その先には何があるのか。私はこのことを考えています。「自調自考」の先は、自ら行動し自ら責任をとる。いわば「自行自責」が必要ではないでしょうか。

自ら行動することはリスクがあります。皆さんがこれから進む日本社会は、良い意味でも悪い意味でもまだまだ同調圧力の強い社会だと思います。自分で考えたことを行動に移す。そのことは時に周囲の反発を招くかもしれません。もし自分の思考を停止して周囲に合わせているだけでは、波風は立たないかもしれません。

受入れられたらよいけれど、拒否されたらどうだろう。それはリスクのあることかもしれません。自分で行動しなければ批判はされません。でも批判を恐れている社会は変わりません。

自分で考えて行動したことが上手くいくときもあるでしょう。そのときは人々は賞賛してくれます。でも上手くいかないときもあるでしょう。「失敗したな」ということもあるでしょう。問題はそのときどうするか。

潔く謝るのです。ごめんなさいと。私はある先生がおっしゃっていたことに深く共感したことがあります。その先生は、大学時代の恩師から言われた言葉として、「失敗を恐れるな。失敗したと思っても、土下座して許されないことはないんだから」と。そのとおりだと思います。ある行動をすることによって、人の生命が損なわれてしまうときを除いて、ある行動が失敗したとしても、それで地球がひっくり返ることはないと思います。

自分で行動した結果については、そのまま受入れる。責任を取る。特に失敗したら潔く謝る。これが「自調自責」です。

ただ「自責」については、注意してほしいことがあります。自分で行動したときに、まちがっていたら潔くあやまりなさいと言いましたが、その柔軟性が大切です。もう一つ。自分の考えに固執することなく、自分の考えが通らないときは、主張しつつもさっと引く柔軟性も大事だと私は思います。巻き込みながら、巻き返すという柔軟性です。

何故、自調自考の先の行動や責任が重要かという、今の日本、そして世界でまさにそのことが問われているからです。世界はまさに先行き不透明です。コロナ禍しかり、ウクライナへのロシアの侵攻しかり、気候変動しかり、そして12年前の3.11や福島原発の爆発もそうでした。グローバル規模での大事件が起きます。何が正解かはわかりません。新

しい価値が大事とか、イノベーションが大事とか言われますが、行動するリスクをとらないうちは、新しいものは生まれません。

笑い話ですが、日本企業が NATO と揶揄されているという話を聞いたことがあります。No Action Talk only だそうです。検討する検討すると言うばかりで動かない。でも自調自考の結果に沿って何かをやってみる。そのことが大事だと思います。失敗してもいいじゃないですか。リスクを取って、ささやかでもよいから一步踏み出す行動パターンを、武蔵生にはもってほしいと思います。ここにいる武蔵生が、将来向き合う様々な分野で、その自調自考、さらに自行自責のマインドを発揮してくれたら、日本は変わり社会は変わっていくと思います。

冒頭話しました。困難な中にあっても、前をみて歩き続けた諸君に私は大いに期待しています。人生は思い通りにならないことも多々あります。むしろ、結果が出ないことの方が多いでしょう。順境にあるときはおごらずに、そして逆境にあるときにはくさらずに、何事も前向きに、これから始まる長い人生に旅だって行ってほしいと思います。

結びに、保護者の皆様に心より御礼を申し上げます。この6年間、本校の教育にご理解ご協力をいただき誠に有難うございました。至らない面も多々あったと思いますが、教職員一同、一生懸命取り組ませていただきました。この武蔵の環境で、多感な十代を過ごし、立派に成長した若者として、皆さま方の大切なご子息を本日お返しできたことを嬉しく思います。

本日をもって、いったん武蔵との縁は切れてしまいますが、今後とも末永くこの武蔵を暖かく見守っていただければと思います。本当にありがとうございました。

それでは、本日この武蔵を旅発つ97期生の前途洋々たる未来を心から祈り、私の式辞といたします。